



# よりのよい町政へ

## Q・増加する独居高齢者 どうする 孤独死対策

### A・高齢者等見守り事業を開始した



今村 一正 議員

**Q** 超高齢化の進展により独居高齢者が増加。孤独死の増加も心配される。

防止対策強化について、聞く。

**A** 生活福祉部長  
まず孤独死とは誰にもみとられず、死後数日たつて発見されるようなケースである。

**Q** 高齢者世帯の現状は。

**A** 生活福祉部長  
65歳以上の独居高齢者は521世帯（平成25年8月、男性191人・女性230人）。

世帯全員75歳以上の世帯は211世帯。

**Q** 独居高齢者すべでの状況をつかんでいるか。

**A** 生活福祉部長  
独居の内容が多岐にわたるため、全部はつかんでいないが、219世帯は把握している。

**Q** 全員の見守りは何故できないのか。

**A** 生活福祉部長  
地域包括支援センターや民生委員が電話や訪問しているが、独居高齢者全員が対象ではない。

見守り体制充実手段として「高齢者等見守り事業」を開始した。

**Q** 「高齢者等見守り事業」はどのような事業か。

**A** 生活福祉部長  
町内を日常業務範囲とする新聞・牛乳店など19事業者と協定して、高齢者や一般の世帯を訪問した際、異変を感じた時は役場に連絡をしてもらう。役場がすぐ訪問して、安否確認や必要な支援の対応をする事業。

**Q** 役場との定期的情報交換はどうするのか。

**A** 生活福祉部長  
年2回、情報交換や他の自治体を参考にして事業内容を検討する。

**Q** 孤独死防止の出発点は独居高齢

者の実態把握である。計画の実施事業にするべきである。

**A** 生活福祉部長  
どのように考えるか。独居高齢者の実態把握は必要。26年度実施の基本チェックや第6次介護保険計画実態調査で把握していく。



豊山町高齢者等見守り活動協定調印式

見守り活動をよろしくお願いします